

2025年度 学校関係者評価委員会の報告書

1. 目的：学校評価を通じた組織的、継続的な教育活動の改善
地域連携・協力による特色のある学校づくりの推進
2. 内容：学校の教職員が学校の理念、目標に照らして自ら教育活動について
行った評価結果を基本として評価を行う・
3. メンバー
事務局（渡邊学校長・中道担当理事・植村担当理事・大澤事務局長・池田副校長）
実習施設（3施設）—看護局長（部長）
久米田看護専門学校—副学校長
同窓会会長（卒業生代表）
4. 今年度の実施状況
第1回目—5月21日（水）
 - ・2025年度向け
2024年度学校関係者評価委員会の年間の検討課題のまとめからの再確認
 - ・年間スケジュール（2025年度活動計画）について
 - ・国家試験対策—2025年度学習支援計画
 - ・2024年度卒業生の国家試験対策のアンケート結果の報告第2回目—9月17日（水）
 - ・看護師養成所の課題
 - ・本校学生の現状報告
 - ・臨床現場からの現状報告と課題
 - ・看護人材の確保と育成第3回目—2月18日（水）
 - ・今年度の自己点検自己評価結果のまとめ（次年度の課題を含む）
 - ・新カリキュラムについての評価
 - ・国家試験終了後の学生の状況
 - ・学年別進捗状況
5. まとめ
 - ① 評価項目全体のまとめ
令和25年度自己点検自己評価の結果の分析参照
 - ・自己点検自己評価結果は、昨年と比較して変化はあまり見られない。
学生の質と量に関する課題が大きく、簡単には解決しない。
 - ・本校においても、定員割れが続いていること、学生の質が落ちていることにより対策を十分検討しながら前向きに取り組んだ1年であった。
 - ・設置者変更に向けて準備中であり、設置者が変更しても学校の教育に関することや職員の処遇などは変わらないと報告を受けている。
 - ・教員の人材確保ができ組織体制が整備され、連携・協力体制が構築しやすくなっていることや、新1年生（9期生）からの教育課程に関して学習会を含め検討する機会を計画的設けていることで、十分とはいいがたいが努力できている。
 - ・今年は研修に参加できる機会も増え教員に自己啓発への支援も充実していた。

- ・ 学生が抱える様々な問題を早期に把握するための学習支援中心の関わりや教務主任、副学校長との連携は強化してきた。
- ・ 縦割り担当の教員も学年別目的を設定し学生間で学習効果を高める活動をしてきた。
- ・ 国家試験対策としては、2名の学習支援を中心に合格実績、合格率を向上させるために学習計画を立て、特別授業や、セミナーの補講や模擬試験への取り組みを強化した結果、非常に高い合格率となった。
- ・ 就職や社会的評価に関しては、管理者が就職活動の成果に関する情報や推移を正確に把握し、学生の就職活動の支援に活用している。
また、実習病棟で卒業生が学生指導を担当してくれることもあり、指導する姿を目にした時は、基礎教育の成果を感じられる社会的評価を把握する機会となっている。
- ・ 学生の募集活動は高等学校などの進学説明会などにも積極的に参加してきた。今年度は、在校生からも本校を知ってもらってたくさん受験してもらいたいという思いから、文化祭を計画実施することで広報活動に尽力してくれた。
- ・ オープンキャンパスの参加数が保護者の参加も含め非常に多く来ていただけたが、受験者数にはつながらなかった。
- ・ 法令などの遵守については、特に個人情報管理に関する啓発及び教育に取り組んできている。
今後も情報リテラシー教育は必須で、この時代の学生だからこそ職業倫理として自分自身の信用にかかわることをしっかり認識させる必要がある。
- ・ 社会貢献、地域貢献については、縦割り活動の中で積極的にボランティア活動に取り組んでグループもあったが、地域社会に視野が向けられているとは言い難い。
地域が抱える問題や課題の解決のために、学生も参加し積極的な取り組みができるよう情報提供する支援を行っていきたい。

最後に

少子化による定員われは長期化するが、人材確保もでき十分時間をかけた関わりができる教育体制になっている。

小人数だからできることがたくさんあるとポジティブに受け止め少しずつでも変革していくことが最も大切だと考えている。

※尚、上記の内容に関しては、令和25年12月末にアンケート集計を行った結果である。その後、急遽令和9年度募集停止が決定した。

※令和8年度入学生ならびに在校生に対して、教職員一同これまでと変わらぬ熱意で教育活動に取り組み、今まで通り自己点検自己評価委員会及び学校関係者評価委員会の内容を充実させ目的を達成させたい。

② 卒業生の就職状況（27名卒業）

岸和田市内—10名（実習施設への就職）

泉州地域 — 9名

堺— 1名

和泉— 4名

貝塚— 1名

泉佐野— 3名

大阪市内 — 7名

県外 — 1名

